

防災・安全ニュース

VOL. 27

危機管理課

2025年7月号

電話：65-1282

今年の梅雨は、梅雨前線が一時消滅してしまうという特異な状況が起きました。それにしても近年の梅雨は、しとしとと降るというイメージから、激しく降ったり、夏空で高温の日が出現したりという極端な天気になってきたように思います。梅雨が空け、これから台風シーズンですが、災害のないことを祈るばかりです。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・ 災害時の避難に関する「国民へのメッセージ」
- ・ 防犯カメラの日
- ・ 天気予報での時間細分

災害時の避難に関する「国民へのメッセージ」

平成30年7月豪雨での全国被害は、死者が200人を超え、避難者数が最大4.2万人に上り、電気、水道などのライフラインにも甚大な被害をもたらしました。四国地方でも、総雨量が1,800ミリを超えるなどして、愛媛県では南予地方で大きな被害を受けました。

この災害を受けて、内閣府の中央防災会議から「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について」との報告書が公表されています。この報告書の中では、突発的な災害に対して行政主導の防災のハード・ソフト対策では限界であって、今後の目指す社会は、行政主導という方向性を根本的に見直し、住民が「自らの命は自らで守る。」すなわち「自助」「共助」意識を持って自らの判断で避難行動をとり、行政はそれを全力で支援するという、住民主体の取り組み強化による防災意識の高い社会を構築する必要があると提言されています。また、この報告書には「国民への

メッセージ」があり、是非皆さんに知っていただきたい内容です。

国民へのメッセージ（（一社）日本共済協会HP）

→ <https://www.jcia.or.jp/disaster/prepare-disaster-add/post-19.html>

防犯カメラの日

7月8日は、「防犯カメラの日」です。これは、防犯カメラの販売などを手がける（株）日本防犯システムによって2017年に制定され、（一社）日本記念日協会によって認定・登録されていて、「な（7）くなれ犯（8）罪」の語呂合わせだそうです。

夏場は、気温の上昇や夏休みなどによる生活の変化に伴って犯罪が増加傾向になりますので、防犯カメラを設置することは犯罪防止に効果的ですが、手軽に設置できそうにないのが現実です。

ある調査では、**防犯対策で最も行われているのがカメラ付きインターフォン、第3位がセンサー付き防犯ライトの設置**ですので、未設置のご家庭では設置をご検討いただければと思います。

また、**ご近所とのコミュニケーションの強化**も一定の犯罪抑止効果があり、災害時にも有効ですので、近隣の方々との関係が希薄に感じられるようであれば、日頃のご挨拶から取り組んでみてはいかがでしょうか。



天気予報での時間の細分

天気予報で「**夜のはじめ頃から雨が降り始め**るでしょう。」と聞くと、人によって何時頃から雨が降り始めるかの感じ方が違うのではないのでしょうか。また、夏場と冬場では日没時刻が大きく異なるので、夜のはじめ頃の感じ方も異なると思います。



実は、天気予報で使われる時間帯の言葉は決まっており、出かけるときの傘の要否の判断などに有効ですので、ご参考にしてください。

Ⅰ 日の時間細分図（府県天気予報の場合）（気象庁HP）

→ https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo_hp/saibun.html

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

土用の丑の日は年に数回ありますが、一般的なのは夏の土用の丑の日で「ウナギを食べる日」という認識が皆さんあると思います。私は歳のせいか、ウナギを食べると胸やけするようになったので食べられません。同様に食べられない方は、「うの付く食べ物」を食すと縁起がよいそうですので、例えば、うどん、瓜（きゅうり、スイカなど）、梅干し、馬肉、牛肉など、消化吸収や疲労回復・エネルギー補給にいいものが多いでしょう。

(N.O)